

令和5年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

事務事業名	公園管理事業			整理番号	— —
				担当課係	都市整備課
事業予算費目	款	8	土木費	記入者職・氏名	
	項	7	都市計画費	内線等	221
	目	2	公園費	事業区分	経常事業
	大事業	1	公園管理事業	事業期間	令和5年～ 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	都市公園法、小松島市都市公園条例				

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

令和4年度「小松島市子育て世代応援プロジェクト」において、親子が安心して遊べる空間として小松島ステーションパークSL記念広場の改修に必要な設計業務を実施することとして「SL記念広場改修事業」が位置付けられた。

令和5年度では、上記の設計業務に基づく大型複合遊具（インクルーシブ遊具）の設置、並びに駐車場整備を実施するとともに、ステーションパーク改修工事設計業務を行うもの。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）
	遊具整備にあたっては、小松島ステーションパークが旧国鉄小松島線跡地を活用し、蒸気機関車等が展示されていることを踏まえ、「SL」をモチーフとした、子どもたちの誰もが安全、快適に楽しく遊べるインクルーシブ遊具を設置する。また、駐車場整備にあたっては、現状では公園利用に供する駐車場が少なく、周辺への駐車が見受けられることから、路上駐車抑制策、また利用者の利便性向上を図ることで、利用者の増加を目的に整備することとする。あわせて、「本港地区みなとまちづくり基本構想」に基づくステーションパーク改修工事設計業務を行う。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）
	小松島ステーションパークの更なる個性化を図り、幼児・児童の遊び場として、かつ子育て世代を始めとした市内外の人々に親しまれる公園施設とする。

■総合計画(前期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(後期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(後期基本計画)上の位置付け	基本目標	6. 快適な暮らしづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	③ 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり
			中項目	⑥ 快適な暮らしづくり
			小項目	6-1 小松島の魅力を活かした都市計画の推進
<p>(理由)</p> <p>総合計画の上記項目において、利用者ニーズに応じた公園や緑地を整備し、子どもから高齢者まで幅広い年代に親しまれる、市民の憩いの場を創出するとともに、小松島市のシンボルである港や競輪場の周辺、ステーションパーク等の整備を推進し、活気と魅力あふれるまちづくりを推進することが謳われていることから、本事業は総合計画との整合性は図られていると考える。</p>				

■他の自治体の類似する政策との比較検討

阿南市西部公園（ひまわりランド）、鳴門市うずしおふれあい公園など、近隣他市の公園施設においては子供向けの大型複合遊具が設置されているが、本市では未設置である。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象(誰、何を対象にしているのか)
	幼児・児童を含む子育て世代を始めとした市内外の人々
事業の意図	意図(事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか)
	小松島ステーションパークのまちなか空間を活かして、子どもや親子・家族等が利用しやすい、魅力の維持や機能の向上を図り、機能転換も行いながら、世代を超えた賑わいのある新たなまちの魅力を創出する、「子どもを育むまちづくり」を目指す。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)
	「小松島市緑の基本計画」のアンケート調査結果では、今後の公園に期待する役割として、「子どもたちが遊べる空間としての役割」が51.2%(複数回答可)と、設問中2番目に多い回答となっている。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺状況等は今後どのように変化していくか)
	小松島ステーションパークは、市立図書館との連携や遊具の新設など、子育て世代をはじめとした幅広い世代の人々に親しまれる公園施設として再整備していくが、財源として国の社会資本整備総合交付金(都市公園事業:補助率=事業費×1/2)を予定していることから、内示率に応じて事業進捗に影響が出ることが考えられる。また、ネーミング・ライツ制度の適用拡大等、財源確保の取り組みを図る必要がある。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	142,763	62,763	10,000	70,000		
		地 方 債	139,000	59,800	9,900	69,300		
		その他(利用者負担等)	2,800	560	560	560	560	560
		一 般 財 源	69,273	16,065	13,202	13,802	13,102	13,102
	A	直接事業費(千円)	353,836	139,188	33,662	153,662	13,662	13,662
	人件費	正 規 職 員 数	2.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人
		職 員 人 件 費 ①	11,410	2,282	2,282	2,282	2,282	2,282
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	5.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 費 金 等 ②	10,525	2,105	2,105	2,105	2,105	2,105
	B	人件費計(千円)①+②	21,935	4,387	4,387	4,387	4,387	4,387
A + B		375,771	143,575	38,049	158,049	18,049	18,049	
有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ある	理由	「本港地区みなとまちづくり基本構想」との整合性を図りつつ事業を進めていることから、当該計画の関連事業に影響があると考えられる。				
		<input type="radio"/> a ない						
	② 類似事業との整理統合はできないか?	<input checked="" type="radio"/> できない	理由	類似事業はないと考えられる。				
	<input type="radio"/> a できる							
③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?	<input type="radio"/> ない	理由	市立図書館他、本港地区等の周辺区域における他施設との連携を図り、地域としての個性化を図る。					
	<input checked="" type="radio"/> a ある							
◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。								
有効性	①							
	②							
	③	他施設との具体的な連携施策を検討する。						
所属長による総合的なコメント								
所管する公園施設等においては、多様な年齢層の交流拠点となっていることから、経常的かつ適切な維持管理により、安全で快適に利用できる状態を維持するとともに、遊具の新設等による新たな魅力づくりに取り組む。								